

大津市図書館事業計画にかかる評価について

1. 目的

図書館の基本的運営方針の実現のため、活動目標ごとの評価について、自己評価と図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

2. 評価にかかる法的根拠

(1) 図書館法

第七条の三（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(2) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準

第2 公立図書館 一 市町村立図書館 1 管理運営

(2) 運営の状況に関する点検及び評価等

- ① 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(1)の②の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- ② 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第14条第1項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、当該図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- ③ 市町村立図書館は、前2項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- ④ 市町村立図書館は、第1項及び第2項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

3. 評価の実施

評価の実施にあたっては、計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）を実行することで、図書館運営全般の評価とその結果に基づく運営の改善及び図書館サービスの向上を図っていきます。

(1) 活動指標の設定

「天津市図書館の基本的運営方針」の実現に向けて掲げた5つの活動目標に基づく指標を設定し、事業の達成度を測ります。

(2) 評価基準

設定した指標の達成状況等により、4段階で評価します。

- A 目標が達成され、十分な成果をあげた。
- B 目標が概ね達成され、一定の成果をあげた。
- C 目標は達成されなかったが、一定の成果をあげた。
- D 目標が達成されず、十分な成果をあげることができなかった。

(3) 評価方法

設定した指標等をもとに、5つの活動目標についての達成状況を図書館内で自己評価をします。その内容を天津市図書館協議会で報告します。また、図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

(4) 令和6年度事業評価の結果について

【評価結果一覧】

評価項目	自己評価			外部評価
	本館	北館	和邇館	
活動目標1 市民の学びに応える図書館	B	B	B	B
活動目標2 だれもが利用できる図書館	A	A	B	A
活動目標3 魅力あふれるまちづくりを支える 図書館	A	A	A	A
活動目標4 子どもの育ちを支援する図書館	A	A	B	A
活動目標5 市民とともにつくる図書館	A	A	A	A

【活動目標ごとの評価シート】

別紙のとおり

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和6年度評価シート

活動目標 1	市民の学びに応える図書館
主な取組み	①幅広い資料の収集と保存 ②資料・情報提供の充実 ③レファレンスの充実 ④図書館職員の資質向上

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
①・幅広い資料の収集と保存に積極的に努めた。 ②・利用者ニーズの適正な把握と要望に的確に応えるための蔵書構成と資料費の確保に努めた。 ・電子図書コンテンツについては、複数同時アクセスが可能な児童書のマルチライセンス型コンテンツを拡充し、朝読書や調べ学習に活用できるコンテンツの選書を行った。 ・新鮮な図書の蔵書構成に努めるため、引き続き丁寧に除籍作業を実施し、除籍資料は、館内において市施設及び利用者にリサイクル本として提供事業を実施した。 ・バリアフリー図書の収集及びバリアフリー資料の展示とリーディングトラッカー作りのワークショップを実施しPRに努めた。 ・大活字本(107点)、朗読CD(15点)、洋書(40点)、LLブック(4点)等の充実を図った。 ・新刊本の受入情報について、本の紹介と合わせてSNSで情報発信を行った。 ・参考資料室を中心とした郷土資料の充実に努めた。・主に大河ドラマ「光る君へ」に係る石山寺プロモーション事業に係る石山寺及び源氏物語、紫式部、平安時代関連の図書の収集及び関連事業の開催と展示を積極的に行った。 ③・レファレンスツールの整備 法令の改正や参考資料の改訂に併せて購入を積極的に行った。 ④・外部研修への積極的な参加 (県立図書館公共図書館協議会主催研修受講。国立国会図書館その他リモート・zoom研修受講) ・館内整理日を活用した職員全体研修の実施 (「視覚障害者との接し方・視覚障害者の読書に関するバリアフリー研修」他実施)					
(2) 課題と今後の展開					
①・図書、雑誌、郷土・行政資料、視聴覚資料、バリアフリー資料、外国資料など豊富で幅広い資料収集を積極的に行うだけでなく、収集した資料を広く知ってもらうための展示及び関連事業並びに広報活動を継続する。 ・図書館資料の収蔵力には限界があることから、除籍作業についても引き続き慎重に作業を継続して行う。 ②・資料・情報提供の充実については、利用者の読書要求に応えるため、引き続き、カウンターでの貸出・返却業務や読書相談やレファレンス等業務について、適正かつ丁寧に対応していく。 ③・日常の疑問の解決や調査研究活動に対応できるよう、参考資料室を中心として、レファレンスツールの整備や資料の充実に引き続き努める。 ④・多様化する利用者のニーズの把握に的確に応えるよう職員の資質向上を図る必要がある。 ・変動する社会情勢に対応すべく、情報の真偽の判断力や氾濫する情報から適切な情報を掴む能力が求められており、職員の資質及び能力向上を図るため、引き続き館内研修の実施や外部研修に積極的に参加し館内で共有していく。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
貸出冊数	815,594	835,000	809,184 (99.2%)	96.9%	835,000
蔵書冊数	532,370	522,000	537,840 (101.0%)	103.0%	522,000

3 自己評価	達成状況	B
幅広い資料の収集においては、様々な選書ツールを用いて利用状況をみながら魅力ある蔵書構成に努め、利用者のリクエストに応え購入や相互貸借にも努めた。新鮮で魅力ある蔵書構成を保ち、除籍資料については活用できる資料は市の公共施設や利用者に提供を行い多くの方々に活用いただき好評であった。約5,000冊提供(雑誌・旅行書、図書含む) 電子図書館では、マルチライセンス型コンテンツを充実させるとともに図書館の展示本とリンクするよう電子図書館内に特集バナーを設置して利用促進を図った。併せてバリアフリー資料及び郷土資料の収集を充実させ、資料の展示と併せてワークショップや講演会等を開催して周知活動を行うことができた。 職員の資質向上については、市民の読書要求に応えるべく館内研修や外部の実地及びZOOM研修に積極的に参加し資質向上に努めた。 上記取り組みを行った結果、個々の活動の成果はみられたものの貸出冊数が目標値に達することが出来なかった。今後も貸出サービスや情報提供等を適切に行い、魅力ある図書館の蔵書構成に努め利用促進につなげていきたい。		

Ⅱ. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開						
(1) 令和6年度 of 取組状況						
① ・幅広い資料 of 収集と保存に積極的に努めた。 ② ・図書館 of 利用者 to、新たに入手した資料や情報を分かりやすく揭示し、提供 of 充実に努めた。 ・北図書館利用案内 of 全面改訂を行った。(一般向け) ・「本 of ミニリサイクルコーナー」を一年を通して行い、除籍後 of 資料を市民に譲渡した。 ・北図書館おたのしみ袋 of 設置(一般53袋、児童46袋) ③ ・人気作家 of 文学作品など北館で利用 of 多い文庫本を大きな活字 of 新版へ継続して買替を行った。 ・図書館 of 利用者 toわかりやすい位置にレファレンス用カウンターを設けて、市民 of 様々な活動を支援するための情報サービス of 充実に取り組んだ。 ・コンプライアンス研修や情報セキュリティ研修等を積極的に受講した。 ④ ・自主事業 of 「季節のおはなし会」等で多くの職員が積極的に発表を行った。 ・著作物 of 著作権原 to について of 研修を実施した。						
(2) 課題と今後の展開						
① ・図書館資料 of 収蔵力には限界があるため、積極的に除籍作業を行う。 ② ・カウンターにおける貸出・返却・レファレンス業務において、接遇 of 基本を身に着けて資料・情報提供を行う。 ③ ・図書館職員 of レファレンス to に関する更なる知識 of 習得 ・館内整理日 of 中で研修時間を設け、職員 of 資質向上に努める。 ④ ・県立図書館等で開催する研修会には、ローテーションを調整し、参加できるよう努める。 ・土日勤務 of 偏重 of 勤務ローテーション to のため、平日開催 of 研修会 to に参加が難しい。						
2 指標						
指標名		令和5年度	令和6年度		令和7年度	
		実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
貸出冊数		353,378	372,000	356,955 (101.0%)	96.0%	372,000
蔵書冊数		175,786	177,000	176,667 (100.5%)	99.8%	177,000
3 自己評価				達成状況	B	
市民 of 読書要求 to に応えるため、幅広い資料 of 充実に努めるとともに、県立図書館や他都市 of 図書館 to との相互貸借を積極的に活用しながら、効率的かつ効果的な資料提供に努めることができた。また、多様化高度化する市民 of 調査・研究 to に対応するため、電話等 by によるレファレンス of 充実に努めることができた。 また、行政 to に関する全般的な知識や図書館業務 to に関する専門的な知識を養い、図書館職員 of 資質向上を図った。 指標 to については、目標値に達しなかったが、今後も資料 of 充実に努め、1人でも多くの市民 to に活用 it いただける取り組みを進めていきたい。						

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・蔵書の見直し(今年度は開架図書の日本の小説、文庫、1～3類、倉庫の本、書庫の児童書の整理) ・破損・汚損本の買いなおし ・源氏物語・紫式部関連の本の収集 ・選書方針、選書会議の方法について検討し、幅広い資料収集に努めた。 ② ・館内展示(成人・児童)や「図書館だより」「くらぼ」「夏休み読書案内」の発行、「時代小説文庫一覧」の更新、「英文多読資料リスト」の作成、 ・「英文多読コーナー」の充実と使い方講座の実施 ③ ・レファレンス記録用紙を作成し、レファレンス内容を職員全員で共有した。 ・「図書館だより」にレファレンスブックの紹介を掲載した。 ④ ・和邇図書館のサービスについて意見を出し合い、話し合った。 ・「音訳・対面朗読ボランティア養成講座」に参加した(3名)。					
(2) 課題と今後の展開					
① ・統計などを活用し、蔵書に偏りがないようバランスを図るとともに、新鮮な書棚を維持できるよう、利用者のニーズや社会情勢を反映した本の購入や内容の古くなった本の除籍などをすすめる。 ・バリアフリー資料への理解を深め、幅広い資料を収集する。 ② ・館内展示や新刊案内、ブックリストなどの発行の継続のほか、新たな本のリストを作成する。 ・好評であった「英文多読」講座を定期的に行い、また、洋書コーナーも充実させる。 ③ ・レファレンスサービスについてPRする。 ④ ・来年度の目標と主な取り組みについて館内で共有し、全職員で協力して進めていく。 ・各種図書館サービスやテーマに応じた研修の受講による職員の資質向上を図り業務に活かす。 ・研修で学んだことを共有し、実務に生かせるよう、報告会を行う。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
貸出冊数	283,836	311,000	264,528 (93.2%)	85.1%	311,000
蔵書冊数	202,056	201,000	200,002 (99.0%)	99.5%	201,000
3 自己評価			達成状況	B	
閉架書庫の本を整理し、複本がある資料や汚損の激しい資料については大幅に除籍を行った。閉架のスペースをこれ以上増やすことが困難であるため、蔵書冊数を増やしていくことは難しいが、地域性、今求められている資料、保存すべき資料を吟味して蔵書計画を進めていきたい。 貸出冊数については、地域人口がここ10年で2000人近く減少していることもあり毎年伸び悩んではいるが、地域の社会福祉施設の利用は増えている。今後も移動図書館などの活用やレファレンス、魅力的な棚づくり、事業・サービスなどを通して一人でも多くの方に満足してもらえる図書館サービスを目指していきたい。 職員の資質向上については、研修に参加するだけではなく、参加していない職員にもフィードバックし、情報を共有した。また図書館の目標についてそれぞれが考えられるよう、会議で確認した。					

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	B
図書館は本を借りる場所、学生が勉強する場所というだけでなく、様々なサービスや行政連携などに取り組まれている。図書購入費の推移について近年維持されていることは、図書館の努力の賜物だと思う。図書館が全方位的に市民の皆様の日々の暮らしに寄り添う施設であるということをアピールして欲しい。 図書館の活動について、数字だけで効果を図れるものではないが、指標の貸出冊数については、市立図書館だけでなく、学校図書館の利用状況も加味したうえで、大津市全体として捉えても良いのではないかと。また、日本図書館協会が集計している考え方とは異なるが、団体貸出の冊数も含めて評価をするなど、今後検討されたい。		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和6年度評価シート

活動目標 2	だれもが利用できる図書館
主な取組み	①図書館への来館が困難な人へのサービスの展開 ②障害者サービスへの展開 ③高齢者へのサービスの展開

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・移動図書館の定期巡回 学校等へのスポット巡回、出前講座を活用したスポット巡回の開催 ・電子図書及びオーディオブックの広報と電子図書の特集ページの充実 ・電子図書コンテンツの充実(令和6年度購入570コンテンツ) ・電子図書マルチライセンス型コンテンツの導入(237コンテンツ(内数))					
② ・朗読ボランティアによるとしよかんまつり「おとなのための朗読会」の実施 ・バリアフリー図書(大活字本と朗読CD)の収集を行った。 大活字本 107冊 朗読CD15点 ・バリアフリーコーナーを目立たせて見出しにピクトグラムを使用し資料を探しやすくリニューアルした。 ・障害者週間に併せ、おとなのための図書館講座として読書補助用具「リーディングトラッカー作り」のワークショップとバリアフリー資料及び機器・道具の展示を行い周知を図った。					
③ ・高齢者事業(連続講座の実施 年間6回 延べ177人参加)					
(2) 課題と今後の展開					
① ・移動図書館の利用促進 ・出前講座を活用した移動図書館さざなみ号特別巡回及びスポット巡回の実施と発信 ・図書館の利用促進につながる環境の整備					
② ・電子図書及びオーディオブックの利用促進と電子図書マルチライセンス型コンテンツの拡充 ・バリアフリー資料等の充実と利用につながる情報発信					
③ ・図書館での高齢者向け行事についてはワークショップ及び講演会を実施し好評であったため次年度以降も事業を継続する。図書館職員以外の外部講師による多彩なメニューを展開し、図書館来館への動機付けや居場所づくりや利用促進に努める。また本市の施策や郷土への関心の醸成につながる講座についても実施していく。 ・様々な図書館資料に触れることで、読書の楽しみにつながる事業の展開を行う。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
来館者数	242,021	230,000	238,500 (98.5%)	103.7%	230,000
図書館利用促進につながる事業回数	376	300	364 (96.8%)	121.3%	300
3 自己評価			達成状況	A	
電子図書館については、非来館型サービスとしていつでもどこでも読書ができる環境の整備とバリアフリー機能の活用、小中学生向けマルチライセンス型コンテンツの拡充を行い、朝読書など利用が集中するタイミングでも利用を妨げることをないよう努めることができた。 高齢者等向け事業については利用者アンケートを取った結果、満足度が高い結果となった。また今後の事業を継続するうえでニーズを把握できたことにより今後の講座内容を充実させ、更なる来館への動機付けに役立てていきたい。またバリアフリー資料収集や啓発事業についても行うことができた。					

Ⅱ. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度 of 取組状況					
① ・小中学校等への定期配本による団体貸出の運行					
② ・大活字本の定期的な購入(計34冊)					
③ ・介護や高齢者向け施設で需要の高い分野の資料を積極的に購入(紙芝居、介助・食事関連、レクリエーション・運動等)					
・北図書館職員が北老人福祉センターへ出向き、高齢者向けの紙芝居によるおはなし会を開催し、趣味や生きがいに役立つ高齢者へのサービスに取組んだ。					
・「小さな映画会」等の映画会の開催					
(2) 課題と今後の展開					
① ・小中学校等への定期配本の利用促進					
・出前講座を活用した図書館案内の実施					
② ・バリアフリー資料等の整備充実					
・電子図書及びオーディオブックの利用促進					
③ ・高齢者施設との連携を図った、図書館の利用促進					
・高齢者向けの紙芝居を充実					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
来館者数	182,078	180,000	187,850 (103.2%)	104.4%	180,000
図書館利用促進につながる事業回数	144	120	141 (97.9%)	117.5%	120
3 自己評価			達成状況	A	
北図書館への来館が困難な人のために、JR堅田駅西口広場前にブックポストを設置し、令和6年度から本格稼働した。また、高齢者向けの大活字本や紙芝居を購入し、だれもが図書館を利用できるサービスを展開した。昨年度も北図書館職員が高齢者施設に出向き、高齢者向けのおはなし会を開催し、高齢者へのサービスの展開を図った。					

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度 of 取組状況					
① ・移動図書館の運行 ・学校・園、児童クラブなどへの団体貸出(再掲) ② ・大活字本、朗読CD、点字図書、LLブック などバリアフリー資料の収集 ・大活字本、朗読CD、バリアフリーDVDなどバリアフリー資料リストの作成 ・「テープ版図書館だより」の作成(12回) ・障害者職業体験の受入(3名) ・バリアフリー映画会の定期開催と障害者団体への広報 ・「音訳・対面朗読ボランティア養成講座」(全5回)の実施 ・視覚障害者松永信也氏講演会 ③ ・映画会「名画の窓」、おりがみ教室、工作会の開催 ・高齢者施設への団体貸出、移動図書館の運行					

(2) 課題と今後の展開

①
移動図書館・電子図書館利用のPR
地域の社会福祉施設等へも団体貸出をPRし、来館が困難な方への読書機会を確保する。

②
さまざまな分野の大活字本、LLブックなど、バリアフリー資料の収集(再掲)
職員のバリアフリー意識を高め、来館者へのサービスの向上につなげる。
「バリアフリーDVD」の積極的な購入・定期的な上映会の開催
高齢者を対象とした事業を開催し、図書館利用と健康を推進する。

③
高齢者施設との連携を図り、図書館の利用を促進する。

2 指標

指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
来館者数	93,704	90,000	88,789 (94.8%)	98.7%	90,000
図書館利用促進につながる事業回数	179	140	163 (91.1%)	116.4%	140

3 自己評価

誰もが利用できる図書館を目指して、移動図書館の運行や障害者・高齢者向けの事業、バリアフリー資料の収集などを行った。特に、令和6年度は障害者サービスを中心に事業を行った。「音訳・対面朗読ボランティア養成講座」では20名の受講者と3名の職員が音訳について学び、松永信也氏講演会では多くの方が視覚障害についての理解を深めることができた。学んだことを今後のサービスに活かしていきたい。

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
各館ごとに集計しているが、各館の来館者の居住地分析を行う手法を取り入れることで、利用実態の可視化や地域住民のニーズに合わせたサービスの展開など、課題がわかるかもしれない。また、全域サービスや多文化サービスの視点で網羅できているかといった視点も今後検討いただきたい。和邇図書館は来館者で目標値には到達していないが、利用促進のための努力を惜しまず取り組まれた実績や、減少し続けている居住人口も勘案し、大津市全体として評価したい。		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和6年度評価シート

活動目標 3	魅力あふれるまちづくりを支える図書館
主な取組み	①郷土資料及び行政資料の収集・整備 ②行政・公共機関等との連携 ③地域資源を活用した運営

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。					
② ・市関係所管課及び公共機関との連携事業として、施策推進にかかる資料とともに関連図書の展示や講演会、図書資料の団体貸出等を積極的に実施した。年間21回 ・学びの継続や発展につなげるために、市関連事業(大河ドラマ「光る君へ」に係る石山寺プロモーション事業・障害福祉(手話言語・自閉症啓発)・男女共同参画・認知症啓発・健康推進・自殺対策等)に関連した図書等の資料収集及び展示業務を行った。 ・手話言語啓発により障害福祉課と協働で図書館のブルーライトアップを実施した。					
③ ・収集した郷土及び行政資料の積極的な活用のための資料展示及び講演会やワークショップを行った。 とよかんまつりにおいて源氏物語関連の特別講演会及び関連資料の展示並びにワークショップ等を実施した。					
(2) 課題と今後の展開					
① ・郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存					
② ・社会的課題の解決支援のため、庁内所管課と連携して市民に情報発信していくことが必要 ・庁内各所管課との連携により、施策の推進を側面的に支援する役割を発揮していく。 ・行政資料や郷土資料が図書館への資料収集に結びつくように、地域や大津市役所庁内に向けて広報活動にも取り組む必要がある。					
③ ・地域の歴史・文化・民俗に関する学びに対応するため引き続き関係機関との連携を行い、地域資源を活用し資料の収集とレファレンスの充実を行う。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
市関係所管課及び公共機関との連携展示回数	20	15	21 (105.0%)	140.0%	15
3 自己評価			達成状況	A	
市関係所管課等との連携展示については目標を達成することができた。市の行政施策の推進事業をよりわかりやすく伝える手段として図書展示コーナーだけでなく、協働して事業(講演会、ワークショップ、測定会等)を実施した。市関係所管課等との情報共有や協同事業を通じて蔵書構成の充実や、魅力あふれる図書館づくりにつながるものとする。今後も連携事業を実施しながら地域資源の掘り起こしを行い、地域の課題解決や魅力を発信できるように一時的な取り組みに終わることなく継続して事業の推進していく。					

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。 ② ・大津市障害福祉課との連携事業を充実し、発達障害の関連本を展示した。 ・堅田すこやか相談所との連携事業を充実し、健康づくり啓発の関連本を展示した。 ③ ・北部地域とのつながりを意識しながら企画運営を図り、北部地域文化センター内の全4所属で第11回ほくぶん子どもまつりを開催した。					

(2) 課題と今後の展開					
① ・郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存 ② ・社会的課題の解決支援のため、庁内所管課と連携をした展示を行う。 ・北部地域文化センター等と連携し、地域資料を収集する。 ③ ・地域で活動する人による歴史や文化等の講演会や展示を開催する。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
市関係所管課及び公共機関との連携展示回数	5	5	5 (100.0%)	100.0%	5
3 自己評価			達成状況	A	
市関係所管課との連携により、健康展示や世界自閉症啓発デーに係わる行政資料などの情報を集約し提供することで、魅力あるまちづくりの情報発信を図った。 また、北部地域文化センター、堅田少年センター、堅田児童館及び北図書館が地域とつながりを意識しながら「第11回ほくぶん子どもまつり」を開催した。					

Ⅲ. 和邇図書館

1. 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・郷土・行政資料の収集・整備 ・郷土・行政コーナーの整備					
② ・市の施策推進にかかる庁内所管課との連携(チラシ・資料の展示) ・近隣の公民館だよりへの本の紹介掲載 ・近隣公民館での乳幼児とその保護者向け事業への参加					
③ ・地域の著名人の写真展の実施(関慎太郎さん)(再掲) ・妹子まつりへの参加(本のリサイクル・ヨミガエル) ・和邇コミュニティセンター主催の写真展					
(2) 課題と今後の展開					
① ・市の施策等について、資料をプリントアウトし、資料として受け入れする。 ・郷土行政コーナーを整理し、展示コーナーを設置して利用を促進する。					
② ・社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。 ・地域の市民センター、コミュニティセンターなどと連携し、地域資料を収集する。					
③ ・地域の自然や歴史、文化、特産物など、講演会や展示など様々な方法で伝える。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
市関係所管課及び公共機関との連携展示回数	5	5	5 (100.0%)	100.0%	5
3 自己評価			達成状況	A	
行政資料の定期刊行物については保存年限を決め、本館や県立図書館で保存している資料は除籍するなど適正な資料管理を行った。郷土資料はパンフレットも含め広く収集するよう努め、地域の魅力を伝えることができた。また、地域の自然や美しい景色が伝わるような写真展を行い、その魅力を再発見することができた。 市の施策推進にかかる庁内所管課との連携についても積極的に行い、特に「源氏物語」関連資料の展示は大規模に行い、多くの関連書を紹介できた。					

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
行政連携の中で専門職との連携による市民への情報発信や、課題解決に向けた展示や事業を積極的に展開され、市民に多くの情報を提供できたことは評価できるところである。今後も更なる取組を期待している。		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和6年度評価シート

活動目標 4	子どもの育ちを支援する図書館
主な取組み	①成長段階に応じた読書環境の整備・充実 ②学校・園や地域との連携 ③子ども読書活動の推進と普及・啓発

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】 ・乳幼児向け・幼児～向けにおはなし会などを実施 ・10か月健診での乳幼児とその保護者向け図書館利用案内配布 ・幼児向けブックリスト作成配布 ・児童書新刊案内発行・HP掲載 ・夏休み読書案内(幼児～小学校高学年)作成配布 ②【学校・園や地域との連携】 ・幼稚園・保育園への絵本セット貸出・配本実施 ・小学校への定期配本・調べ学習用図書貸出配本 ・小学校1年生対象図書館利用説明出前 ・小学1年生対象図書館利用案内配布 ・小学2～3年生対象図書館案内出前 ・小学2～3年生図書館見学受入 ・学校・園・小中学校初任者研修などでのおはなし会や出前講座実施 ・小学校低学年・中学年・高学年ブックリスト配布 ・移動図書館小学校スポット巡回の実施 ・中学校1年生ブックリスト配布 ・中学生対象図書館利用案内配布 ・中学1年生対象出前講座 ・中学校へのセット貸出・配本 3校 ・中学生職業体験受入れ 3校 ・学校図書館リニューアル支援 4校9回 ・児童館へのセット貸出の実施 5館 ・子育て総合支援センターへのセット貸出実施 ③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】 ・出前講座(児童館での絵本講座等の実施) ・商業施設への出前おはなし会 ・季節に合わせた催しの実施、季節ごとのテーマ展示 ・関慎太郎氏写真展実施 ・人形劇団公演 ・としょかん児童サービスボランティア養成講座の実施					
(2) 課題と今後の展開					
① ・子どもの読書環境の整備 ・本と親しむ契機となるおはなし会の充実 ② ・子ども読書活動推進のため、学校・園と連携した読書環境整備の支援が必要 ・子どもが地域で気軽に本に触れることができるよう子育て関連施設等への支援が必要 ・中学生の読書離れや図書館利用の減少への施策が必要 ③ ・児童サービス関連講座の継続的な実施 ・子どもを取り巻く大人に向けた読書活動の推進と普及・啓発					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
児童図書貸出冊数	305,341	290,000	283,741 (92.9%)	97.8%	290,000
学校・園への団体貸出冊数	30,049	27,000	27,014 (89.9%)	100.1%	27,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	289	260	272 (94.1%)	104.6%	260

3 自己評価	達成状況	A
乳幼児から小学生まで対象ごとにお話を実施し季節ごとに興味をひくような展示を工夫した。また、気軽に参加できる催しを企画し、来館を促すことができた。園・学校に向けセットの定期貸出とリクエストについて配本を行い、図書室のリニューアル支援を実施することで子どもの読書環境の充実を図った。子どもと本に関わる大人に向け、出前講座や、児童サービス関連の講座を実施し、子どもの読書への理解を深めてもらうきっかけとすることができた。		

Ⅱ. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開						
(1) 令和6年度 of 取組状況						
① 【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】						
・堅田児童館の主催事業「ぴよぴよ広場」で絵本のはなしや読み聞かせの実演を1回実施。(継続)						
・堅田児童館の主催事業「赤ちゃん広場」で絵本のはなしや読み聞かせの実演を3回実施。(継続)						
・たーたかのおはなし会(月2回)、コロボックルのおはなし会(年12回)、季節のおはなし会(年4回)、夏と春に大きなおはなし会を開催						
・児童向けの夏休みおすすめ本を作成し、図書館利用者にブックリストを配布						
・2～3歳向けブックリストの配布						
② 【学校・園や地域との連携】						
・図書館職員が仰木の里東小学校へ出向き、2年生に「出前図書館案内」を実施。(継続)						
・一日図書館員(小学3年生)事業 → 8月の2日間で8人						
・図書館見学(小学3年生)の受入れ → 伊香立小・堅田小(2日)						
・職場体験学習(中学2年生)の受入れ → 堅田・伊香立・真野・志賀・皇子山中5校						
・堅田小・真野小・雄琴小・仰木小・仰木の里小・仰木の里東小・伊香立小・葛川小及び伊香立中・葛川中(継続)と連携し、定期配本や学習支援用の図書の貸出を行い、子どもの読書活動を推進						
・学校図書館支援事業→堅田中2回訪問・伊香立中1回訪問、選書リスト提供・堅田小3回訪問						
③ 【子ども読書活動の推進と普及・啓発】						
・夏休み期間中に5回の貸出しで、職員が作った景品のプレゼントを実施(夏休みスタンプラリー)						
・長く読みつがれてきた児童書を中心に、積極的な買替・複本購入を実施						
(2) 課題と今後の展開						
① ・本に興味をもってもらうため、夏休みブックリストを作成していく。						
② ・図書館見学や職場体験学習等の受入れ人数に限りがあるが、日程調整を図り、積極的に受入れを行う。						
・配本人員を確保し、定期配本や図書貸出を行う。						
③ ・夏休みスタンプラリーや冬のどくしょマラソンを開催し、図書館への来館契機と読書推進につなげる。						
2 指標						
指標名		令和5年度	令和6年度			令和7年度
		実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
児童図書貸出冊数		149,976	150,000	155,473 (103.7%)	103.6%	150,000
学校・園への団体貸出冊数		8,011	6,000	10,172 (127.0%)	169.5%	6,000
児童サービス事業 (おはなし会等)の回数		54	45	51 (94.4%)	113.3%	45
3 自己評価				達成状況	A	
ボランティア団体「たーたか」や「コロボックル」のおはなし会及び北図書館職員による季節のおはなし会等を開催することで、子どもたちが読書の楽しさに気づき、生涯を通じて本がそばにある暮らしを提供することができた。						
また、近隣の小学校等と連携を図り、定期配本や学習支援用の依頼図書の貸し出しに努め、子どもたちの成長段階に応じた読書環境を支援する活動を展開した。						

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度 of 取組状況					
① ・乳幼児・児童向け定例おはなし会の開催 ・乳幼児健診でのおはなし会のチラシ配布、近隣園へのおはなし会予定表(半年分)配布 ・児童書新刊案内「くらぼ」、「夏休み読書案内」の作成・配布 ・「かがくえほんのおはなしかい」(4回)「わらべうたのおはなしかい」(3回)の開催 ・おはなし会でのおすすめ絵本展示 ② ・近隣公民館での乳幼児とその保護者向け事業への参加(再掲) ・地域の写真家・関慎太郎さんの写真展と本の展示 ・学校・園、児童クラブ等への団体貸出 ・小学校への出前講座 ・調べ学習支援図書・並行読書用の図書の購入 ・小学校施設見学の受入、一日図書館員の開催 ③ ・近隣の学校・園への移動図書館の巡回(再掲) ・学校司書の研修会への参加 ・お正月「本のふくぶくろ」(子ども向け)の開催(10袋20冊配布) ・子ども読書週間での行事開催(再掲) ・児童文学翻訳家榎田理絵さん講演会の開催、杉山亮さん講演会の後援					
(2) 課題と今後の展開					
① ・乳幼児とその保護者が来館しやすいような雰囲気づくり。 ・おはなし会の周知・広報(SNSの活用) ・小学生の調べ学習の支援、読書のきっかけづくり ・読書の機会が少なくなる高学年や中学生向けの事業を行い、読書のきっかけを作る。 ② ・子どもたちが本に触れられるよう、移動図書館を活用し、より多くの施設へ本を届けられるようにする。 ・学校・園に向けた移動図書館利用のPRと行事の広報 ・公立の学校・園以外にも図書館利用をPRする。 ③ ・子ども読書活動推進のための講演会や講座を行い、子どもの読書についての理解を深める。 ・子ども読書週間など読書関連の事業を行い、子どもの読書についての啓発を行う。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
児童図書貸出冊数	92,093	95,000	86,852 (94.3%)	91.4%	95,000
学校・園への団体貸出冊数	12,727	12,000	10,455 (82.1%)	87.1%	12,000
児童サービス事業 (おはなし会等)の回数	51	45	58 (113.7%)	128.9%	45
3 自己評価			達成状況	B	
おはなし会や講演会など積極的に事業を行ってはいるが、貸出や来館に結びつくような事業ができていないのか、個人・団体とも貸出冊数が伸び悩んでいる。成長段階に応じた細やかなサービスを行い、子どもたちに本の楽しみや資料の活用について知ってもらい、豊かな読書体験ができるような環境を整えたい。					

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
学校・園や子どもを取り巻く各施設との連携についても、積極的に実施されており評価するところである。小さい間に本と繋がるきっかけが次のステージに繋がる。きっかけづくりとしての取組や情報発信を積極的に行われている。時代に合った効果的な情報発信となるよう工夫されているところであるが、図書館に限らず難しい課題である。 また、取り組まれた成果(アウトカム)の検証についても今後検討いただきたい。		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和6年度評価シート

活動目標 5	市民とともに作る図書館
主な取組み	①課題発見と解決への支援 ②ボランティア活動の推進 ③市民協働の推進

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・1F・2Fフロアでのテーマ展示実施 一般向け 83回 児童向け 24回 市役所各所管課や地域団体との連携展示21回(一般展示の内数) ② ・ボランティア活動の実施 次年度再開に向け、活動内容を精査 ③ ・市民協働の推進 「大津おはなしのとびら」によるおはなし会実施、おとなのためのおはなし会の実施ほか おはなし会ホウホウ+の実施(11月・3月に実施) 朗読ボランティア「サークルDo」によるとしょかんまつり「おとなのための朗読会」の実施(再掲) 大津市商店街連盟主催「まちゼミ」とのコラボ展示 青春21文字のメッセージ作成ワークショップの開催と展示コーナー設置 まちかどぶんぶんかん事業実施による本とひととまちをつなぐ事業の実施					
(2) 課題と今後の展開					
① ・滋賀県及び大津市に関する資料の充実とテーマ展示の充実。また、効果的な発信を行う必要がある。 ・地域や市役所各所管課と連携し、課題解決支援につながる取組みを推進する。 ② ・としょかんまつりや定例行事等において、ボランティア活動を展開していく。 ③ ・市民協働の更なる積極的な取組みを推進していく。					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
図書館事業の協働事業者数	4	10	11 (275.0%)	110.0%	10
3 自己評価			達成状況	A	
ボランティア団体やまちづくりなど市民協働事業者との図書館での連携事業者数は目標を達成することができた。 今後も地域で活動するボランティア団体やまちづくり事業を推進する事業者等と連携しながら図書館事業の推進していきたい。					

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・1Fフロアでのテーマ展示実施 一般向け14回 児童向け39回 ・市の施策推進に係る庁内所管課との連携 ② ・ボランティア団体(たーたか、コロボックル)による定期的なおはなし会の開催 ・ボランティア活動による本の修理・配架等 ③ ・7名のボランティア登録者による書架の整理や図書資料の修理などの実施 ・公民館などで活動されているサークルからの依頼を受け、北図書館司書職員がこどもへの読み聞かせとおすすめ絵本の紹介					

(2) 課題と今後の展開

① ・今後も利用者の課題発見と解決への支援のための様々なテーマ展示を行う。

② ・ボランティア参加者の増加と活動領域の拡大を図る。

③ ・読書ボランティア団体(たーたか・コロボックル)や北図書館友の会との協働事業を推進する。

2 指標

指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
図書館事業の協働事業者数	20	20	21 (105.0%)	105.0%	20

3 自己評価

達成状況

A

ボランティア団体(たーたか・コロボックル)によるおはなし会を定期開催することにより「本」と「人」をつなげる活動の推進を図り、また、図書館ボランティアによる書架の整理や本の修理等に取り組み、市民協働の推進に努めた。

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和6年度の取組状況					
① ・課題発見と解決支援につながるテーマ本の展示 ・市の施策推進にかかる庁内所管課との連携(再掲)					
② ・サークル協議会への参加 ・蔵書点検ボランティアの募集(3名) ・サークル主催の講演会(杉山亮氏)、切り絵講座(早川鉄平氏)の共催					
③ ・志賀おはなしの会による「ぴよぴよおはなしかい」「おはなしかい」の開催(22回) ・朗読の会「燐」による「テーブル版図書館だより」「テーブル雑誌燐」の作成(16回) ・サークル主催の講演会(杉山亮氏)、切り絵講座(早川鉄平氏)の共催(再掲) ・「サークルまつり」の開催(妹子まつりと同時開催)					
(2) 課題と今後の展開					
① ・利用者の課題発見と解決支援につながるような様々なテーマの本を紹介していく。 ・レファレンス記録をまとめ、公開することで解決支援につなげる。 ・積極的なフロアワーク・カウンターワークから利用者の課題解決支援に取り組んでいく。 ・社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。(再掲)					
② ・活動推進にかかる情報提供・情報共有 ・配架・修理、蔵書点検等、個人ボランティアの募集					
③ ・おはなし会や館内行事等読書ボランティア団体との協働事業の推進					
2 指標					
指標名	令和5年度	令和6年度			令和7年度
	実績	目標	実績 (前年度比)	達成率	目標
図書館事業の協働事業者数	6	5	6 (100.0%)	120.0%	5
3 自己評価			達成状況	A	
展示はミニ展示を含め3か所で行っている。庁内所管課との連携した展示も含め、毎月様々な展示を行うことができた。今後も引き続き、新たな本との出会いをつくれるような展示を工夫していきたい。 サークル協議会との共催事業を行い、多くの方の参加があった。また、市民の方に蔵書点検ボランティアとして参加してもらうことで、図書館の仕事を知ってもらうことができた。					

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
各館とも協働による事業を展開している様子を伺うことができ、一定の評価に値する。 協働による事業を実施していくうえでは、従事いただく方も個人情報取り扱いや守秘義務などに留意いただくとともに、図書館職員も職員以外の方が執務室に入られるという意識を持つておくことが必要である。また、職員は、ボランティアの自主性を活かしていただくよう留意いただきたい。		